

プロフィール

2023年3月末日現在

FFG 福岡ファイナンシャルグループ

設立日 平成19年4月2日
本社所在地 福岡市中央区大手門一丁目8番3号
資本金 1,247億円
従業員数 7,546人
電話(代表) 092-723-2500
URL <https://www.fukuoka-fg.com/>

連結子会社
27社 2023年5月末日現在
格付情報
A+ R&I 発行体格付
A+ JCR 長期発行体格付

福岡銀行

設立日 昭和20年3月31日
本店所在地 福岡市中央区天神二丁目13番1号
資本金 823億円
従業員数 3,494人
本支店数 166(福岡県内148)
電話(代表) 092-723-2131
URL <https://www.fukuokabank.co.jp/>

貸出金	11.6 兆円
預金量	13.7 兆円
格付	AA-*1 AA-*2 A3-*3

熊本銀行

設立日 昭和4年1月19日
本店所在地 熊本市中央区水前寺六丁目29番20号
資本金 100億円
従業員数 777人
本支店数 69(熊本県内62)
電話(代表) 096-385-1111
URL <https://www.kumamotobank.co.jp/>

貸出金	1.9 兆円
預金量	1.6 兆円
格付	AA-*1 AA-*2

十八親和銀行

設立日 昭和14年9月1日
本店所在地 長崎市銅座町1番11号
資本金 368億円
従業員数 1,945人
本支店数 179(長崎県内155)
電話(代表) 095-824-1818
URL <https://www.18shinwabank.co.jp/>

貸出金	4.2 兆円
預金量	5.6 兆円
格付	AA-*1 AA-*2

*1 R&I 発行体格付 *2 JCR 長期発行体格付 *3 Moody's 長期預金格付

●海外拠点数(福岡銀行海外駐在員事務所):8
(香港、上海、大連、ニューヨーク、シンガポール、バンコク、台北、ホーチミン)

会社説明会を開催しました

国内の機関投資家を対象に「第36回FFG会社説明会」を開催し、当社グループの経営戦略を中心に、第7次中期経営計画の進捗や企業価値向上に向けた取り組みについて説明を行いました。当日の動画をホームページに掲載しております。当社グループをより深くご理解いただくための参考になりましたら幸いです。



●ホーム>株主・投資家情報>IRライブラリー>会社説明会資料・決算ハイライト
<https://www.fukuoka-fg.com/investor/library/presentation.html>



株主還元の実

当社グループでは、企業価値を高めることで株主価値の向上を図ることを基本とし、株主の皆さまに対する利益還元につきましては、業績連動型の配当方針(配当テーブル)を採用しております。第7次中期経営計画では、引き続き配当性向35%程度を目標とした業績連動型の配当方針(配当テーブル)を採用し、利益成長を通じた安定的な配当を目指してまいります(但し、事業展開やリスク環境等により変更することがあります)。

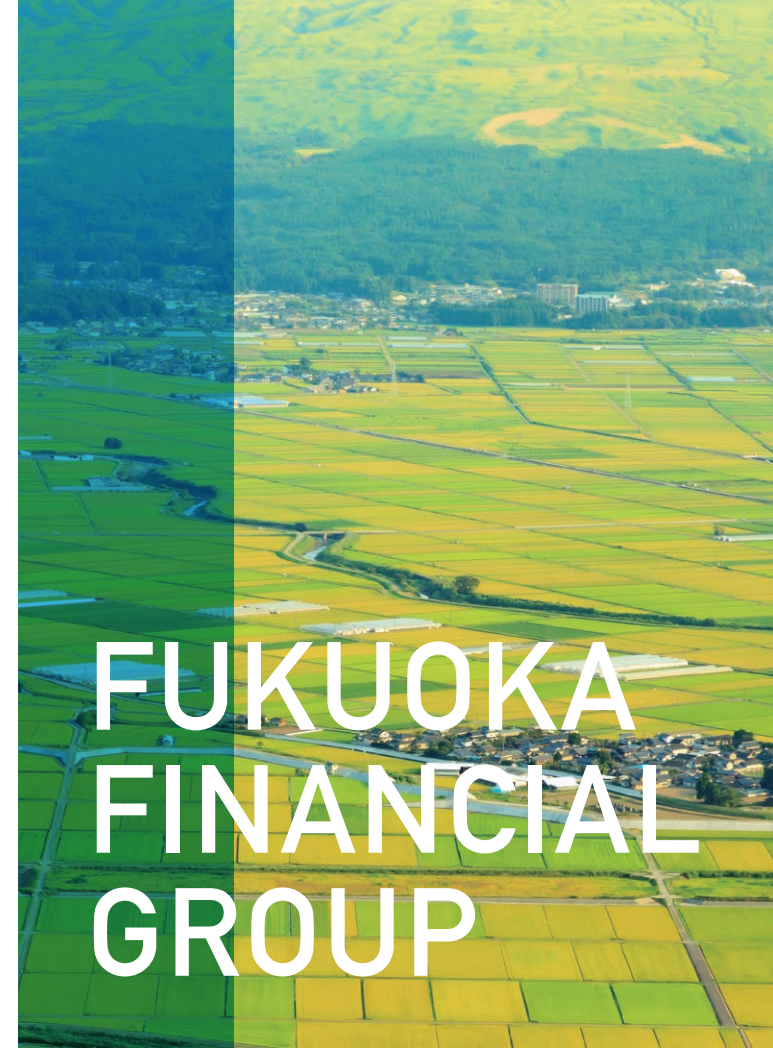
また、業績や資本の状況、成長投資の機会、市場環境等を総合的に考慮したうえで機動的に自己株式を取得し、株主還元の実を図ってまいります。

連結当期純利益水準	1株あたり配当金目安
650億円以上	年間 125円~
625億円以上~650億円未満	年間 120円~
600億円以上~625億円未満	年間 115円~
575億円以上~600億円未満	年間 110円~
550億円以上~575億円未満	年間 105円~
525億円以上~550億円未満	年間 100円~
500億円以上~525億円未満	年間 95円~
~500億円未満	配当性向35%程度

※連結当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を指します。

商号等	株式会社福岡銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登録)第7号	株式会社熊本銀行(登録金融機関) 九州財務支局長(登録)第6号
加入協会	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会	日本証券業協会
商号等	株式会社十八親和銀行(登録金融機関) 福岡財務支局長(登録)第3号	FFG証券株式会社(金融商品取引業者) 福岡財務支局長(金商)第5号
加入協会	日本証券業協会	日本証券業協会 第二種金融商品取引業協会

●発行-2023年6月 ●編集-株式会社ふくおかファイナンシャルグループ 経営企画部
〒810-8693 福岡市中央区大手門1-8-3 TEL 092)723-2500(代表)



FUKUOKA FINANCIAL GROUP

FFGディスクロージャー誌2023
あなたのいちばんに。編



ふくおかフィナンシャルグループ
取締役社長
五島 久

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
FFGの営業基盤である九州の経済は、新型コロナウイルス感染症抑制と経済活動の両立が進むなかで、個人消費の増加や企業の底堅い設備投資などにより、持ち直しの動きが続きました。一方、足元の事業環境は、地政学リスクの顕在化や各国中央銀行による金融引き締めなど、不確実性が高まっています。

こうしたなか2022年度は、法人のお取引先の事業や、個人のお客さまの人生におけるゴールをともに見据えて寄り添う「ゴールベース型営業」に取り組み、営業部門は着実な成果を上げました。2021年にサービスを開始したみんなの銀行は、全国の若年層を中心に、口座数やローン残高が着実に増加しています。2023年度は、みんなの銀行の決済機能を中心とした金融機能を事業パートナー(企業)に提供する「BaaS事業」の拡大に取り組みます。そして、パートナー企業と、その先にいらっしゃるお客さまへの新たな価値提供に注力します。市場部門は米国金利が高止まりするなかで、将来の収益確保を目的に、外債ポートフォリオの入替を実施しました。その結果、連結当期純利益は前年比減益となりましたが、この要因を除けば増益であり、2023年度以降の成長トレンドを維持できると考えています。

FFGが将来にわたって収益を上げ成長し、お客さまから支持され続けるためには、コンサルティングの質と営業生産性の向上が欠かせません。「デジタル化」「業務改革」「営業改革」などの各施策を連携させ、「ソリューション提供力」を高めることで、「地域社会の課題解決」と「FFGの企業価値向上」の好循環サイクルを創出し、「豊かな地域社会の実現」を目指してまいります。

今後とも一層のご支援・ご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。



中国信託フィナンシャルホールディングと業務提携「台湾ビジネスセミナーin熊本」

FFGは、台湾の民間最大手金融グループ・中国信託フィナンシャルホールディングと業務提携を行いました。TSMCの熊本進出を契機に、九州では「シリコンアイランド九州」の復活や産業基盤拡大などへの期待が高まっていることから、福岡銀行からグループへ業務提携を拡大しました。業務提携後の最初の取り組みとして、台湾や半導体をテーマとしたセミナーを熊本にて開催し、会場とオンライン合わせて約1,400名の方々にご参加・ご視聴いただき、盛況のうちに終了しました。



地域の生産性向上を目的とした「総合商社」新設

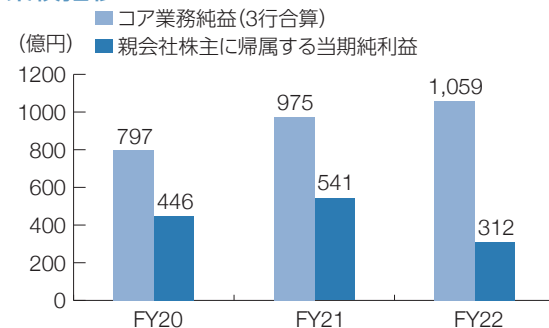
商社業務を行う専門子会社「FFGインダストリーズ」を設立しました。金融を中心とした従来の間接的な取り組みに留まらず、一層地域企業の本業に踏み込んだ本質的な支援を行います。金属加工製品の取扱いから開始し、発注者と工場とを適切かつ円滑に繋ぐ商社機能を担うことで、地域企業の潜在力を引き出し、地域全体の生産性向上に貢献してまいります。



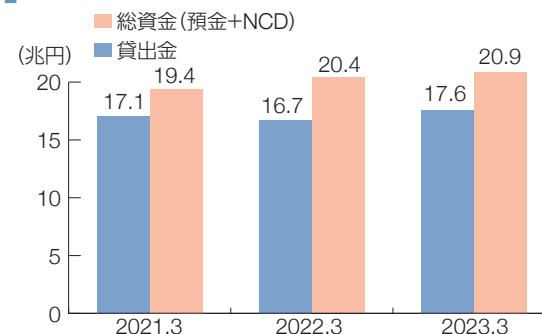
FFGインダストリーズ株式会社

コア業務純益(3行合算)は、前年比+83億円増加の1,059億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、海外金利の上昇による将来の収益下押し懸念を排除するため、有価証券ポートフォリオを再構築したことから、同▲230億円の312億円となりました。今般のポートフォリオ再構築などにより、次年度以降においても中期経営計画で目標としている当期純利益の水準に向け、成長トレンドを維持できる見通しです。

業績推移



預貸金末残(連結)



連結自己資本比率

